

経営健全化方針に基づく取組状況（令和3年度）

○法人名

秋田栗駒リゾート株式会社

○経営健全化方針を策定した理由

- ・平成29年度決算において、債務超過額が22,434千円となり単年度赤字となったため、策定したものである。

○財政的リスクの状況

	平成29年度決算	令和3年度決算	目標達成年度 (令和5年度)
債務超過額（千円）	22,434	83,681	0

○主な取組状況（令和4年6月現在）

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・コロナの終息が依然見えてこない状況下、日帰り等のお客様が少ない中で、テイクアウトや温泉利用の施策強化に取り組み、利用増を進める。
- ・県、村の宿泊助成事業も積極的に活用し、昨対を上回る効果が出てきた。今後、国の補助事業開始に向け集客に取り組んでいる。
- ・世界的なエネルギーの逼迫や価格の高騰で固定費の上昇が著しくなっているため、各施設の節電等に努めていく。
- ・慢性的な人員不足の問題も地域づくり協同組合を利用し、採用広告等で人員確保に努める。

【地方公共団体による財政的リスクへの対処のための対応】

- ・各施設の経営改善に向けた方策を法人と随時協議している。
- ・新型コロナウイルスの感染リスクを低減させるため、換気設備等感染防止対策を実施した。
- ・コロナ禍における旅行需要の回復と宿泊施設の利用促進を図るため、村独自で宿泊助成事業を実施しているほか、各施設の利用料金助成や広告・宣伝活動など側面的支援を行っている。
- ・令和4年度は、引き続き宿泊助成事業を実施するとともに、コロナ禍において原油価格や物価高騰による影響への支援を行う。

○法人の財務状況

（貸借対照表から）

（単位：千円）

	平成29年度決算	令和3年度決算
資産総額	58,931	49,813
（うち現預金）	39,713	32,260
（うち売上債権）	10,172	12,366
（うち棚卸資産）	5,134	3,580
負債総額	81,365	133,494
（うち当該地方公共団体からの借入金）	0	0
純資産総額	△ 22,434	△ 83,681

（損益計算書から）

	平成29年度決算	令和3年度決算
経常収益	356,770	346,210
経常費用	358,156	355,088
経常利益(損益)	△ 1,386	△ 8,878
経常外利益(損益)	0	0
当期純利益(損益)	△ 1,590	△ 9,082